

院内感染予防対策

1： 接触感染予防

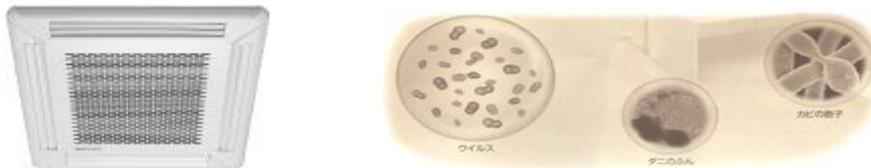
- 1日に3回、ドアノブ、ベッド、机、ソファー、トイレ、等、患者様が触れる可能性のある場所を徹底的にアルコール消毒しています。特に、診察室のドア、患者様用の椅子等は、必要に応じて頻回にアルコール消毒を行っています。
- 玄関、トイレ、書架の前には、アルコール除菌スプレーを設置しています。雑誌を読む前後、トイレ使用の前後には、ぜひ手指のアルコール消毒を行なって下さい。
- 玄関 風除室内には、手洗い場を設けてあります。良く手を洗ってから、お帰り下さい。
- 医師、看護師、事務スタッフは、一つの処置を行う度に手指の消毒を心掛けています。

2： 空気感染予防・院内空気の清浄化

当クリニックでは天井埋め込み式の医療用空気清浄機「エアロシステム 35M-D」を、待合室と点滴室の2箇所に導入しています。

この装置は通常の床置型空気清浄機能の7～10倍の空気清浄能力を持つ本格的な医療施設用業務型空気清浄器です。清浄機能が高いため二カ月に一度専門のスタッフさんがフィルター交換等のメンテナンスを行います。

約7倍の除菌力 医療用空気清浄装置エアロシステム35M-D



- **毎分35立方メートル (m³) の強力な吸引能力です。**
医院内で発生する ほぼすべての汚染物質を速やかに取り去り、理想的な環境を作ります。
- **臭いも吸引します。**
病院特有の臭いも、強力な脱臭フィルターによって除去します。
- **98%以上の集塵効果があります。**
浮遊している粉塵や各種の汚染物質の98%以上をしっかりと吸着します。
- **0.01ミクロンの汚染物質もキャッチします。**
一般のフィルター方式では除去しにくい0.01ミクロンの小さな浮遊物質もキャッチします。
例えば、他の患者さんの咳によって空気中に飛び散った唾液の飛沫や細菌なども強力に吸引吸着しますので、大部分の細菌・ウイルス類を取り除くことができます。
- **オゾンによる殺菌脱臭効果もあります。**
電気集塵部のコロナ放電によって発生するオゾンには、殺菌脱臭作用がありますので、除菌効果を高める効果があります。